

事務事業実績測定調査

事務事業名称	本会議等会議運営事務										
測定年度	2021 (R3) 年度				部	市議会事務局			課	議事調査課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務	
事業期間	1947 (S22) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	地方自治法、枚方市議会会議規則、枚方市議会委員会条例 他					
関係補助金名称					サンセット	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	議会の会議内容に関心のある市内に居住、就学、就労する市民、地域、事業者(広義の市民)				
	サブターゲット	タブレット型端末及び文書共有ソフトを導入し、議会関係資料や連絡文書を電子化することで、資料等の作成に伴う印刷費用や配付、保管等にかかるコストの削減を図り、円滑で効率的な会議運営を行う。				
	ターゲットが抱える課題	本会議、常任委員会、特別委員会、委員協議会その他の会議を円滑に運用し、市民に開かれた議会の実現が求められている。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	議会の会議が円滑に運営され、また、会議内容が市民にとってわかりやすく伝えられることで、市民に開かれた議会が実現された状態。					
事業概要	諸会議が円滑に運営されるよう準備等を行う。また、市民に開かれた議会を目的として、インターネットによる本会議の生中継及び録画映像の配信を行っている。なお、本会議開催時において、依頼に応じて手話通訳者の派遣を行っている。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					本会議を市民が傍聴できる				本会議が円滑に運営されるよう準備、補佐等を行う。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				本会議の傍聴者数				本会議の開議日数			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位				人				日			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)実績				250 250 250 250				25 25 25 25			
	達成度				83%				116%			
分析				コロナ禍の中でもあり、想定を下回った。				新型コロナウイルス感染症への追加対策等による緊急議会の開催で想定より開議日数が多くなった。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					データ化して配付した資料				資料作成費用の削減			
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				資料をデータ化することで削減した用紙				資料作成に必要な用紙や印刷製本に係る費用の減少			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位				枚				円			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)実績				- 176,100 176,100 176,100				642,000 3,251,000 3,251,000 3,251,000			
	達成度				146%				102%			
分析				令和4年3月定例会議会からの本格運用をはじめペーパーレス化を推進し、想定を超える紙の削減につながった。				紙の削減量は想定を超えるものであったが、人件費を含めた効果額については想定どおりであった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	4.37
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	33,110	36,605	33,538		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	33,110	36,605	33,538		
	物件費計	1,836	478	5,088	7,535	68%
	歳出計	34,946	37,083	38,626		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	34,946	478	5,088	7,535	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和3年度は、本会議が29日開催され、合計207人の傍聴者があった。また、本会議の開催に合わせ、インターネット(ユーチューブ)による生中継及び録画映像配信を行った。</p> <p>なお、その他の会議等の開催実績は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会(総務、教育子育て、市民福祉、建設環境) 6回 ・議会運営委員会 21回 ・特別委員会(予算、決算) 12回 ・委員協議会(総務、教育子育て、市民福祉、建設環境) 26回 ・その他の諸会議(全員協議会、各派代表者会議、議会報編集委員会) 30回 ・常任委員会行政視察 0回(0都市)※コロナ禍により実施を見送り
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	<p>タブレット端末及び文書共有ソフトを導入し試行運用中であった諸会議等でのペーパーレス化について、令和4年3月定例会から本格運用に移行したが、今年度は、本格運用の課題整理を図りながらペーパーレス化による効率的な会議運営をさらに進める。また、令和4年3月、オンライン委員会の導入のために改正した委員会条例等に基づきオンライン委員会の開催要請があった場合に円滑に運用できるよう、各委員会の形態に応じた実施体制を構築する。</p>

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市議会会議録等作成事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	市議会事務局			課	議事調査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性			内部事務			区分	一般内部管理事務
事業期間	1947(S22)年度			年度	~					年度まで	
根拠法令等	地方自治法、枚方市議会会議規則、枚方市議会委員会条例 他										
関係補助金名称	サンセット										
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		議会の会議内容に関心のある市内に居住、就学、就労する市民、地域、事業者(広義の市民)								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		会議録、委員会記録等が整備され、市民が議会の会議内容等を確認できる状態が求められている。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	議会の会議後できるだけ速やかに会議録等が作成され、紙媒体やインターネット上で市民が議会の会議内容を確認できている状態。										
事業概要	反訳業者の作成した原稿を各種資料と照合するなどして校正し、紙媒体による会議録等を作成する。また、作成した会議録等を市立図書館等に配架するとともに、インターネット上で利用できる会議録検索システムに会議録等のデータを掲載する。										

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						市民等が紙媒体やインターネット上で市民が議会の会議内容を確認できる。				紙媒体による会議録等を作成する。			
指標説明						会議録検索システムの年間アクセス件数				会議録、委員会記録の作成部数(1日1部換算)			
指標種類		単位				単位 件				単位 部			
指標設定		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					12,000	12,000	12,000	12,000	60	60	60	60
達成度						95%				117%			
分析						目標を下回ったものの、一定想定どおりであった。				緊急議会等の開催で多くなったが、概ね想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,561	20,336	18,452		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	19,561	20,336	18,452		
	物件費計	3,218	3,546	3,427	3,936	87%
	歳出計	22,779	23,882	21,879		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	22,779	3,546	3,427	3,936	

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度において作成した本会議の会議録等は、緊急議会、全員協議会が複数回開催されたことから70日分となった。会議録等は、会議等終了後速やかに整文等を行い、発行の上、市立図書館等への配架とインターネット上への会議録検索システムへデータ掲載をスケジュール内で行った。また、令和2年度における会議録検索システムのアクセス件数は、11,416件である。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	議会日程等が重なり記録業務が滞ることがあるが、記録作成スケジュールを綿密に作成するなど効率的な事務執行により、本会議の会議録は3か月以内、予算・決算特別委員会の記録は6か月以内に作成し会議録検索システムに掲載する。あわせて、その他常任委員会や議会運営委員会等の記録についても同様に、そのデータを速やかに作成を行うなど、公開情報の充実を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	議会報発行事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	市議会事務局			課	議事調査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1956(S31)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市議会議会報発行規程、枚方市議会議会報発行要綱				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内全世帯(全事業所、市内各施設含む)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	本会議等の内容が適切に報道され、市民が議会や市政について認識し、理解することができる状態が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	本会議等の内容が適切に報道され、市民が議会や市政について十分に認識し、理解できている状態。				
事業概要	議会報は原則として年6回(3月、6月、9月、12月の各定例月議会後、5月の開会議会後及び正月)発行しており、配布先は本市の全世帯(全事業所、市内各施設を含む)である。 また、文字を読むことが困難な視覚障害者や高齢者向けに「点字議会報」と「声の議会報」を発行しており、「声の議会報」については市議会ホームページ上で音声データを公開している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
					議会報が本市の全世帯に配布される。				議会報を編集・発行する。				
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明				全戸配付に必要な年間作成部数				議会報の年間編集ページ数				
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値				単位	部	単位	ページ					
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					1,125,000	1,125,000	1,125,000	1,125,000	24	24	24	24
達成度					101%				108%				
分析					想定通りであった。				想定を超える実績となった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	3.49
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,933	26,238	26,889		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	24,933	26,238	26,889		
	物件費計	9,571	9,412	10,816	14,312	76%
	歳出計	34,504	35,650	37,705		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	34,504	9,412	10,816	14,312	

5. 総括的分析

令和3年度の議会報は、開会議会や各定例月議会等に合わせて、5月1日号(188,900部)、7月1日号(189,900部)、8月1日号(189,900部)、11月1日号(190,100部)、新春号(190,200部)、2月1日号(190,300部)を発行。議会報の発行に合わせて、点字議会報を59部(年間計)、声の議会報を241部(年間計)発行した。
 新型コロナ関連の審議等が多くなったことで文字掲載量が増え、年間を通じて紙面レイアウトに苦慮しながらの発行作業となった。特に、5月1日号においては通常の6P以内に収まらず、急遽変更契約を締結し、8Pでの発行となった。
 また、紙面の充実を目的に、2月1日号ではプレゼントクイズコーナーを掲載。多数の応募があり、議会報への感想や意見を収集することができた。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	プレゼントクイズコーナーを定期的に掲載することで、議会報の読者を増やす。また、市民からの感想や意見を基に紙面改革に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	議員調査・研修事務															
測定年度	2021(R3)年度				部	市議会事務局				課	議事調査課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり													
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます													
	実行計画名															
1. 事務事業の概要																
種類	内部管理				特性				内部事務				区分		一般内部管理事務	
事業期間	1947(S22)年度				年度	~								年度まで		
根拠法令等	枚方市議会会議規則、枚方市議会図書室規程															
関係補助金名称	サンセット															
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		市議会議員													
	サブターゲット		市職員及び市民													
	ターゲットが抱える課題		市議会議員が先進事例等の調査や研究を活発に行える環境の維持が求められている。													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	議員が先進事例等の調査や研究を活発に行うことができ、その成果として市への政策提言等が恒常的に行われている状態。															
事業概要	常任委員会等による先進都市研修(視察)の日程調整、議員発議による先進事例等の調査、議員向け研修会の案内や参加手続等を行っている。また、議員の調査、研究に必要な図書等を提供するために議会図書室を運営している。なお、議会図書室は、市民、職員など、だれでも利用することができる。															

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
						議員が先進事例等の調査や研究を行う。				先進都市研修(視察)の調整、事務手続き等を行う。			
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明					議員による先進都市研修(視察)件数				議員から事務局への先進都市研修(視察)に関する事前の調整依頼件数			
	単位					単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)実績					20 20 20 20				40 40 40 40			
	達成度					0%				0%			
分析					コロナ禍のため先進都市研修の実施を見送った。				コロナ禍のため先進都市研修の実施を見送った。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
						議員、職員、市民などに図書の貸し出しを行う。				図書を購入し、配架するなど、議会図書室を運営する。			
指標設定②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明					図書の貸出冊数				議会図書室の蔵書数(新聞、定期購読冊子除く)			
	単位					単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)実績					50 50 50 50				2,400 2,400 2,400 2,400			
	達成度					98%				110%			
分析					想定より貸出冊数が少なかった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	13,789	10,368	10,734		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	13,789	10,368	10,734		
	物件費計	1,202	1,173	1,088	1,690	64%
	歳出計	14,991	11,541	11,822		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	14,991	1,173	1,088	1,690	

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度においては、緊急事態宣言が発令されたこと等コロナ禍でもあり先進都市研修(視察)の実施は見送った。議員発議による先進事例等の調査、議員向け研修会の参加手続等を行った回数は12回である。
 また、令和3年度中に議会図書室へ新たに配架した図書(定期刊行物除く)は80冊であり、年度末の蔵書数は2,629冊となった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	コロナ下での先進都市への研修(視察)は難しいが、今後も、議会図書室の資料の充実や他市先進事例の情報提供など議員が行う調査、研究を適切にサポートする。また、書籍等の資料については、議会図書室の配架場所に限りがあることから、随時、棚卸作業を行うなど議員、市民が利用しやすいよう整理に努める。

事務事業実績測定調査書

事務事業名称		議事調査課運営事務															
測定年度	2021(R3)年度				部	市議会事務局				課	議事調査課						
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4									
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外														
	施策目標		99.施策体系外														
	実行計画名																
1. 事務事業の概要																	
種類	内部管理				特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明				年度	~				年度まで							
根拠法令等	決裁																
関係補助金名称											サンセット						
関係附属機関名称																	
事業対象	メインターゲット		議事調査課職員														
	サブターゲット		全ての議員														
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。														
	ターゲットが抱える課題																
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課員が、それぞれ担当する事務を適正に把握し、正確かつ迅速に執行している状態。																
事業概要	課の運営業務																
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
指標設定	指標説明																
	指標種類		単位		単位		単位		単位								
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標(見込み)															
	実績																
	達成度																
分析																	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	5,627		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	5,627		
	物件費計	-	-	193	324	-
	歳出計	-	-	5,627		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	0	
	一般財源	-	-	193	0	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市議会の機能を十分に発揮するため、定期的なOJTで職員の議会事務能力の向上を図るとともに、研修等で知識・技術の習得に努めるなど、自治体職員としての研鑽に取り組んだ。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	各業務を適正かつ円滑に遂行できるよう取り組みを進める。また、情報収集や連絡調整等を積極的に行うとともに、外部研修を含む各種職員研修を通じて得た知識や技術を課内で共有し、自治体職員としての研鑽に励む。